

## 第4回ゲートキーパー研修会へのご参加をお待ちしています

- 埼玉県内では、年間 1000 名を超える方が、自らの命を断つ状況が続いています。
- 薬剤師は、患者の服薬状況から、患者の異変や自殺リスクに気づきやすい立場におり、「命の門番」ともいえるゲートキーパーの役割を担うことが期待されています。
- 埼玉県薬剤師会では、これまで3回のゲートキーパー研修会を実施するとともに、薬剤師向けのDVD教材の作成を行ってきました。
- これらの取り組みは、国会議員によるヒアリング（自殺対策を推進する議員の会）において日本薬剤師会を通じて報告しています。埼玉県薬剤師会でのゲートキーパー研修会は、全国的にみても先進的な取り組みといえますが、研修会の参加者数が年々減少している状況です。
- これまでに参加された方、および非会員も含めて、一人でも多くの方にご参加いただけることを期待しています。

### 今回のテーマ「精神保健福祉士（PSW）との多職種連携」

自殺の背景には、うつ病など精神疾患に加え、経済的問題、家族関係、介護、育児などさまざまな社会的な問題が絡んでいることが少なくありません。こうした「生きづらさ」に対して、薬剤師だけで対応することには限界があり、多職種による連携が必要となります。今回のゲートキーパー研修会では、精神保健福祉士の役割を学ぶとともに、グループワーク（ロールプレイ）を通じて薬剤師と精神保健福祉士との連携の可能性を模索します。

- 1 日時 平成27年10月25日(日) 13:15～17:00(予定) (受付 13:00～)
- 2 会場 浦和コミュニティーセンター 9F 15集会室  
(JR浦和駅 東口駅前 パルコ) さいたま市浦和区東高砂町11-1
- 3 定員 100名(定員に達し次第、申込受付を終了させていただきます)
- 4 受講料 埼玉県薬剤師会会員(A会員、B会員、賛助会員) 1,000円  
上記以外の方 2,000円
- 5 内容 薬剤師による心に悩みを抱えた患者の支援  
(国立精神・神経医療研究センター 嶋根 卓也)  
気づく・つなぐ・見守る～精神保健福祉士からみたゲートキーパーの役割～  
(埼玉県精神保健福祉士協会 神前 まい子)  
グループワーク：仮想事例に基づき、ロールプレイを行います。
- 6 その他 \*日本薬剤師研修センターの集合研修の対象研修会です。

申込票は、この用紙以外でも9/16送信の県薬FAX  
本会HP>研修会案内にも掲載しています。

## ゲートキーパー研修会(H27.10.25)受講申込票

受講者氏名	
区分	<input type="checkbox"/> 埼玉県薬剤師会会員 (会員 No. ) <input type="checkbox"/> 会員外
地域 薬剤師会名	
勤務先名	
TEL/FAX	/
グループワーク の班割の参考と します。右 記の設問にお答 えください。	それぞれの回答に、どちらか○をつけてください。  ・在宅訪問を実施していますか？ 1. はい 2. いいえ  ・精神科の処方せんを応需していますか？ 1. はい 2. いいえ

後日、FAXでもお申し込みできます。

締め切り 10月15日(木)

FAX番号 048-667-5580 (埼玉県薬剤師会)

【問い合わせ先】本会薬事情報センター TEL 048-667-5544